



世界難民の日 in KANSAI 2020
世界とつながる“今”の日本で～あなたと私にできること～

「コロナ危機の中で世界の難民は？」

安藤由香里

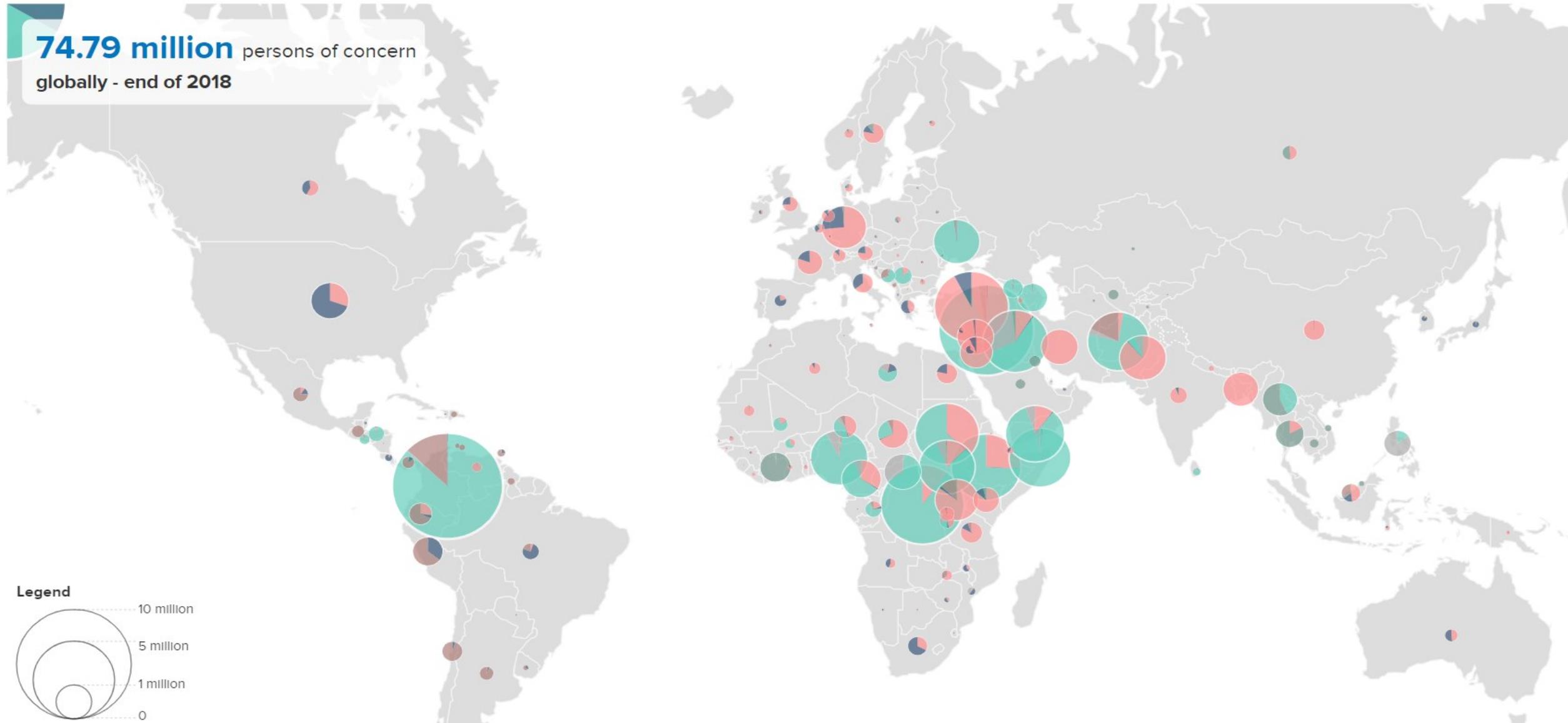
大阪大学 国際公共政策研究科 招へい准教授

UNHCR援助対象者の世界地図(2018年末)

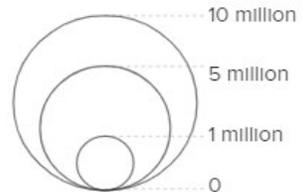
UNHCR STATISTICS

The World in Numbers

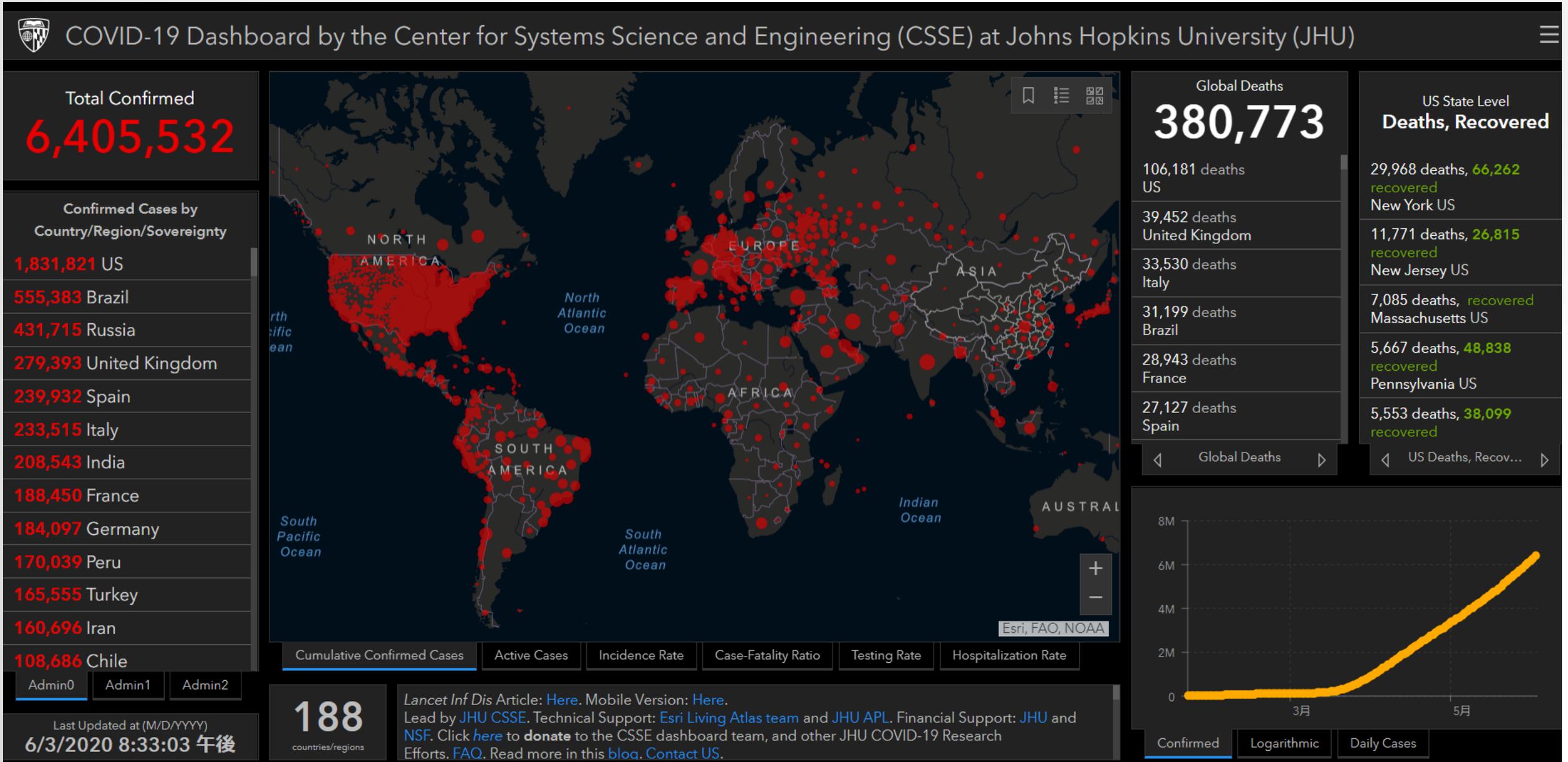
74.79 million persons of concern globally - end of 2018



Legend



COVID-19感染の世界地図(2020.6.3現在)



2016年9月19日 国連難民・移民サミット 「難民・移民ニューヨーク宣言」

国際移住機関(IOM)を国連システムに組み込み、
移住のグローバル・ガバナンスを強化することを宣言。





- **地位に関係なく、すべての難民・移民の人権を保護。**
- **女性と女児の権利や解決策に対し全面的、平等かつ有意義な参加を促進。**
- **難民と移民の子どもたちが全員、到着から2-3カ月以内に教育を受けられるようになる。**
- **性的暴力・ジェンダーに基づく暴力を予防し対処。**



- 大量の難民・移民を保護している国・受入国を支援。
- 子どもを収容する慣行をやめるように促進。
- 難民・移民の排斥を禁止し、やめるように促進。
- **移民が受入国の経済や社会的発展に貢献していることを強調。**
- UNHCRが再定住の必要性を認めた難民に、新たな住居を確保し、**国境を越える労働移動や教育制度**を促進し、難民が他国へ移住できる機会を拡大。

難民に関するグローバル・コンパクト

2018年1月31日 難民に関するグローバル・コンパクトのゼロドラフト発表

国際機構、開発主体、国際金融機関、地域機関、市民社会、プライベートセクター、受入社会、難民自身が意見を出しあい、ジュネーブ公式協議。

2018年7月20日 難民に関するグローバル・コンパクト案発表
12月17日 国連総会で採択

4本の柱

- ① 難民受け入れ国の負担軽減
- ② 難民の自立促進
- ③ 第三国定住の拡大
- ④ 安全かつ尊厳ある帰還に向けた環境整備

移住に関するグローバル・コンパクト

- 2018年2月15日 移住に関するグローバル・コンパクトのゼロドラフト発表
12月10日 モロッコ政府間国連会議で採択
12月19日 国連総会で採択



Global Compact
FOR Migration

#ForMigration

国連移住ネットワーク(United Nations Network on Migration)

パンデミック下での移民の強制送還は中断されなければならない

パンデミック下において、移住に関するグローバル・コンパクトを移民対応の指針とし、適正手続を保証し、人権が脅かれるおそれがある場合に集団追放や強制送還を禁止し、移住に関するグローバル・コンパクトの目的21を促進するよう各国に求める。

https://migrationnetwork.un.org/sites/default/files/network_statement_forced_returns_-_13_may_2020.pdf (2020.6.3閲覧)

移住に関するグローバル・コンパクト目的21

持続可能な再統合と共に、**安全で尊厳のある帰還**と再入国を促進するために協力する。

37. 安全で尊厳のある帰国のために協力し、適正手続、個別事情の考慮、効果的救済を保証することを約束し、集団追放と帰国移民の禁止を支持して、国際人権法に基づく義務に基づき、死、拷問、その他の残虐な、非人道的な、品位を傷つける取扱いや処罰やその他の回復不能な損害の現実的かつ予見可能な危険性がある場合には、それを軽減することを約束する。

自国に戻る権利と自国民を入国させる国家の義務を完全に尊重し、国民が確実に迎え入れられ、入国保証を約束する。

出身国への帰還に伴う再統合が持続可能であることを保証するために、コミュニティにおける個人の安全、経済的エンパワーメント、統合、社会的団結の助けとなる条件を創出することを約束する。

国連移住ネットワーク

COVID-19と入管収容

1. 新たな入管収容をやめ、入管収容を一時停止する。
2. 国際法に基づいて、収容ではなく、身体拘束をともなわない、地域社会に根づいた収容代替措置を緊急に実施する。
3. すべての被収容者を、適切な保障措置に従って、身体拘束をともなわない、地域社会に根づいた代替手段に解放する。
4. 収容代替措置が機能し実施されている間に、収容施設の状況を改善する。

https://migrationnetwork.un.org/sites/default/files/docs/un_network_on_migration_wg_atd_policy_brief_covid-19_and_immigration_detention_0.pdf (2020.6.3閲覧)

COVID-19グローバル人道対応計画、国連協調アピール、2020年4月～12月

(Global Humanitarian Response Plan COVID-19, UN Coordinated Appeal, April-December 2020) 16頁

最も影響を受ける危険性が高い集団は、国内避難民、難民、庇護希望者、帰還民、移民、障がい者、社会的に阻害された集団、手の届きにくい地域の人々である。

これらの人々は、医療を受けるのに十分な経済的余裕がなかったり、僻地に住んでいたり、移動が困難であったりする。彼らは受診を拒否されたり、受診する意思がなかったり、医療にアクセスできなかったり、住んでいる場所に十分な医療がない場合がある。

汚名を着せられたり、差別されたりすることへのおそれは、医療を受ける方法や受ける場所を複雑化するかもしれない。COVID-19で移動の制約が増えると、こうした既存の課題を悪化させる可能性がある。

感染から身を守るために適当で行動可能でわかりやすい情報を得られなかったり、新たな脅威に直面した時に、役立つ社会的な支援ネットワークが不足している者もいる。

彼らは、感染やウイルスの拡散を防ぐために、十分な保健・水・衛生設備が整っていない混雑した環境で生活していることが多い。

政府の基本サービスを提供する能力も著しく損なわれ、資源が他の集団にいつてしまうかもしれない。

渡航制限のために足止めされ、法的地位を喪失したり、サービスへのアクセスの欠如により、さらに脆弱になり得る。

<https://www.unocha.org/sites/unocha/files/Global-Humanitarian-Response-Plan-COVID-19.pdf> (2020.6.3閲覧)

COVID-19グローバル人道対応計画、37頁

UNHCR

コミュニティレベルでCOVID-19パンデミックに対する認識と理解を高めることで、難民、移民、国内避難民、援助対象者に対する暴力、差別、疎外、外国人排斥の危険性を予防し、予測し、対処する。

MDGs

ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs) 2001年策定、極度の貧困と飢餓の撲滅等2015年までに達成すべき8目標

ミレニアム開発目標 (MDGs) Millennium Development Goals



極度の貧困と飢餓の撲滅

- 1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる
- 飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる



初等教育の完全普及の達成

- すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする



ジェンダー平等推進と女性の地位向上

- すべての教育レベルにおける男女格差を解消する



乳幼児死亡率の削減

- 5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する



妊産婦の健康の改善

- 妊産婦の死亡率を4分の1に削減する



HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止

- HIV/エイズの蔓延を阻止し、その後減少させる



環境の持続可能性確保

- 安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる



開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

- 民間部門と協力し、情報・通信分野の新技术による利益が得られるようにする

2015年までに国際社会が開発分野において達成すべき共通の目標。上記8つのゴールの下に、より具体的な21のターゲットと60の指標が設定されている。これらの目標は1990年を基準年としており、2015年が達成期限となっている。

改善された点

- 世界全体では極度の貧困の半減を達成
- 世界の飢餓人口は半減達成の見通し
- 不就学児童の総数は約半減
- マラリアと結核による死亡は大幅に減少
- 安全な飲料水を利用できない人の割合の半減を達成

積み残された課題

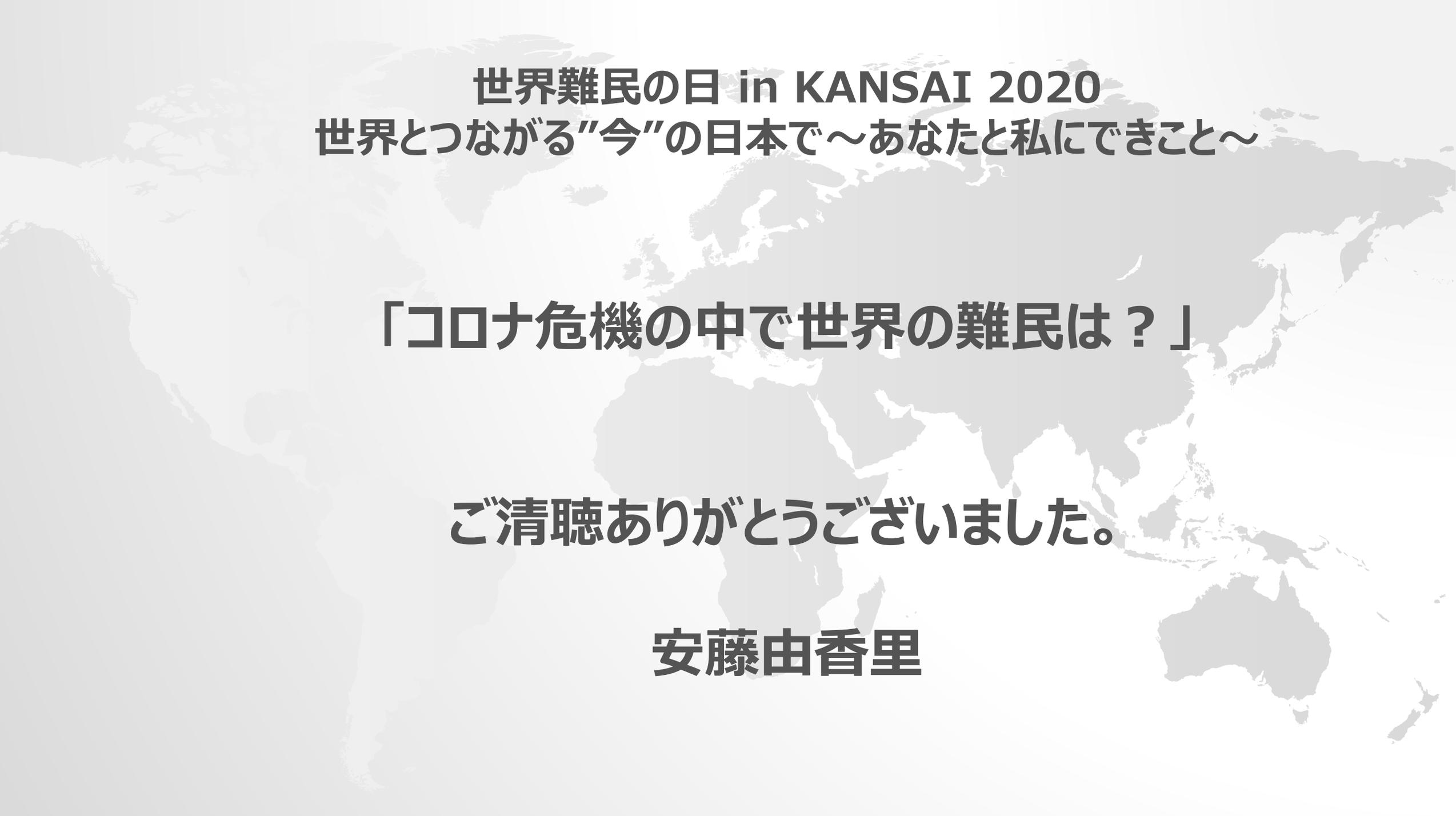
- 国内での男女、収入、地域格差が存在
 - 5歳未満児死亡率は減少するも、目標達成には遠い
 - 妊産婦の死亡率は削減に遅れ
 - 改良された衛生施設へのアクセスは十分でない など
- 国際社会のさらなる努力が必要です

SDGs

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)
2015年9月国連サミットで採択、2030年までに目指す17目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





世界難民の日 in KANSAI 2020
世界とつながる“今”の日本で～あなたと私にできこと～

「コロナ危機の中で世界の難民は？」

ご清聴ありがとうございました。

安藤由香里